

KINJO MIND

KIND

Kinjo
University
2016.3

No.22

在学生ピックアップ

後援会 活動報告

平成27年度後援会 地域別説明会・個別相談会、
決算見込み及び経費執行経過報告、
後援会による主な教育・研究支援について

大学行事

卒業研究発表会、学生との意見交換会、
電飾イルミネーション『金城Hot Spot』～White ring～点灯式、
平成27年度卒業証書・学位記授与式

トピックス

第10回保健・医療・福祉創造フォーラム開催報告、
野々市市との包括連携協定締結、金沢医科大学との連携協力に関する包括協定締結、
台北市立大学との教育学術交流に関する協定締結と交流事業実施報告

教育・研究活動報告

研究活動成果報告会開催報告、科学研究費助成事業採択状況

クラブ・同好会活動報告

平成27年度卒業パーティー

平成28年度大学行事案内

在学生ピックアップ

音楽を活かして、保護者や地域ともコミュニケーションを深められる保育者に



社会福祉学部 社会福祉学科 子ども専攻 3年
中田 梢子

大学に入学する前まで、私は保育Ⅱ子どもについての勉強だと漠然と考えていました。しかし大学に入学し、保育相談支援などさまざまな授業の中で、保育者は保護者や地域ともつながりを持ち、時には互いの架け橋となる存在であるということを知りました。子どもの心に寄り添うことはもちろんとても大事なことです。保護者の心にも寄り添い、それぞれに最善となる形で支援することもとても大事なことです。

そこで大学の勉強だけではなく、より地域の保育の実態について知りたいと思い、今は地元の子育て支援センターへのボランティアや学童保育でのアルバイトを行っています。私を含めて家族全員が楽器を演奏することが好きなこともあり、先日子育て支援センターやデイサービスセンターで演奏会を行いました。体を動かしながら音楽を楽しんでいる子どもたちの姿を見ることができたのはとても嬉しかったし、音楽を活かして地域の人と関わりを持つことができ、良かったと思います。

将来は好きな音楽を活かしつつ、子どもたちが健やかに育つことができるよう、保護者や地域とコミュニケーションを積極的にとり、その架け橋となる保育者になりたいと思います。



患者様の気持ちに寄り添い、望むところを知ることが出来る作業療法士へ

私は高校生のときに医療系の職種に興味を持ち、特に障がいからの回復を目指すリハビリテーションに対する関心が高まっていました。理学療法士と作業療法士について調べてみると、作業療法士は精神面のケアにも関与していることを知り、作業療法士になることを目標に決めました。そしてタイミングよく金城大学に作業療法学科が新設されたことから、1期生としてチャレンジしてみよつと入学しました。

しかし、大学に入ってから勉強量は私の想像以上に膨大で、何度か心が折れそうになりましたが、友人達との交流や先生方の温かい励ましが有り、いよいよ最終学年の4年生を迎えることができました。その間、学内の講義や学外での臨床評価実習で、本来のリハビリテーションとはどのようなものかこれまで漠然としか解っていなかったリハビリテーションの本質を知ることができました。たくさん学んだ中で最も印象に残っていることは、「セラピストには知識技術も必要だが、患者様対象者様の背景や望むところを知り、その気持ちを充分に考え接することである。」との教えます。4年生の臨床実習では、リハビリテーションを受けることに抵抗を持たれた方々に対して、どう接していけば良いのか、精神面からのアプローチについて特に学びたいと思っています。

将来は、金城大学で学んだ事を活かし、患者様の気持ちに寄り添って相手の気持ちを少しでもわかることができるような作業療法士になりたいと思っています。



医療健康学部 作業療法学科 3年
河畑 孔樹

専門的な知識と技術を身につけ臨機応変に援助できる看護師を目指す



看護学部 看護学科 1年
川合 実穂

私が看護の道を選んだきっかけは祖母の存在です。祖母は心臓病で入院を繰り返していて、その都度いつもそばで援助をする看護師の姿をみてきました。その行動から、命を守る看護師は、確実に全てをこなせる力が必要だと思いました。だからこそ、一般教養を含め、人のためになる看護の知識技術を幅広く学べる大学を志望して、金城大学に進学しました。

大学での講義は高校とは比べものにならないくらい難しいです。しかし、学べる楽しさもあり、このことが自分の目指す将来につながると思うと、より多くのことを勉強しなければいけないと感じています。これまでの講義の中で興味があったのは、基礎看護学方法論です。この講義では、看護師にとって必要なバイタルサインの見方や褥創防止への援助方法などを根本から学び、看護の基本となるさまざまなことを知ることができました。

私は将来、専門的な知識技術を持ち、患者さんの気持ちを十分理解して、臨機応変に援助できる看護師になりたいと思っています。そのためには、これからもさまざまなことを身につけていきたいと思っています。そして、看護学科1期生としての自覚をもち、同じ目標をもつ友人とともに切磋琢磨し、また、キャンパスライフも楽しみたいと思っています。目標達成のためには富山からの通学もあまり苦ではありません。これからも有意義な大学生活を送っていききたいです。

後援会活動報告

平成27年度 後援会 地域別説明会・個別相談会

平成27年12月12日(土)13時より、今年度も能登会場・福井会場・富山会場の全3会場にて、地域別説明会・個別相談会を実施しました。

能登会場は「七尾サンライフプラザ」にて14人、福井会場は「福井県織協ビル」にて16人、富山会場は「オークスカナルパークホテル富山」にて31人、合計61人の保護者の方にご参加いただきました。各会場とも、修学状況や学生生活、就職や資格等に関する多くのご質問・ご意見をいただきました。

今後より多くの方にご参加いただけるよう、説明会・相談会の充実に努めてまいります。



▼決算見込み及び経費執行経過報告(購入備品、寄付状況等について)

会費	16,320,000
利息	1,356
前年度繰越金	1,511,106
合計	17,832,462

学生活動支援費	4,999,128
就職・教育活動支援費	5,132,327
会員研修費	300,000
研究活動支援費	738,720
会議費	571,607
通信費	659,030
慶弔費	150,000
事務費負担金	500,000
広報費	899,600
雑費	134,488
卒業記念品代	903,409
特別会計繰入金	1,000,000
学園110周年記念寄付金	1,000,000
予備費	150,000
合計	17,138,309

次年度繰越金	694,153
--------	---------

▼後援会による主な教育・研究支援について

学生活動支援費

看護学部棟のある松任キャンパス内、自転車駐輪場に駐輪用スタンド(3台用×10台)を購入しました。

就職・教育活動支援費

年間を通して、就職支援関係(専門職・一般企業及び接遇関係を含む)、国家試験支援関係、各種資格取得支援関係の対策講座を実施しており、例年、その経費の一部を補助しています。

研究活動支援費

4年生から提出された卒業論文・事例研究の要旨集について、平成28年1月に発行し、全学生に配付しました。

広報費

年2回、会報誌「KIND」を発行し、会員の皆様へ後援会の活動報告や学生生活の現況、大学の最新情報等を提供しています。また、ホームページも随時更新し、後援会事業内容等の報告を行っています。

卒業記念品代

ボールペン(パーカー)を購入し、平成28年3月18日(金)卒業式当日、卒業生(229人)「前期卒業生1人を含む」に贈呈しました。

※その他、各費目の詳細につきましては、平成28年度後援会総会(平成28年6月25日(土))資料にてご報告させていただきます。

大学の教育・研究活動報告

大学行事

卒業研究発表会

医療健康学部…平成27年10月10日
社会福祉学部…平成27年12月・28年2月

医療健康学部は平成27年10月10日(土)に卒業研究発表会を行いました。3年生時より取り組んできた卒業研究の集大成の発表会です。今年度から作業療法学科3年生も参加し、質疑応答では作業療法の視点からの鋭い質問も見られました。来年度からはいよいよ2学科での開催となります。発表会では、一昨年度から優秀発表者の選出が始まりました。優秀発表者は教員と学生の投票で選出し表彰されています。

社会福祉学部は12月から2月にかけて各ゼミで卒業研究発表会を行いました。



学生との意見交換会

平成27年10月13日・14日

今年度の学生との意見交換会は、平成27年10月13日(火)に1・2年生、14日(水)に3・4年生と学年別に行われました。今年度は新たに看護学部生も加わり、学生と教職員が施設や行事、授業運営など様々な事柄に関して意見を交わしました。大学及び後援会では、貴重な意見を参考に、よりよい教育環境を提供することができるよう努めていく予定です。

電飾イルミネーション『金城Hot Spot』 White ring点灯式

平成27年12月14日



笠間キャンパス内の正面エントランスサークルに兼六園をイメージした雪吊りのイルミネーションが施され、平成27年12月14日(月)に点灯式が行われました。8回目となる今年のテーマは、学友会からの提案で

「White ring」に決定し、実施されました。式では短期大学部学生によるミュージックベル演奏、金城大学附属西南幼稚園の園児によるクリスマスソングが披露され、賑やかな雰囲気誘われて、サンタクロースとトナカイが現れ、歌のお礼に園児たち二人ひとりにプレゼントを手渡ししました。

平成27年度卒業証書・学位記授与式

平成28年3月18日

平成28年3月18日(金)に第13回卒業証書学位記授与式が白山市松任文化会館にて挙行されました。社会福祉学部の卒業生159人、医療健康学部の卒業生70人が学び舎を後にし、社会に向けて新たな歩を踏み出しました。



式では、加藤真一理事長が告辞を、半谷静雄学長が式辞を述べました。続いて白山市長、金城大学同窓会長から祝辞が披露され、最後に、卒業生を代表して、山下舞さんが答辞を述べました。なお、夜には会場をホテル日航金沢に移し、卒業パーティーが盛大に行われました。

※卒業パーティーの様子は裏面参照

トピックス

第10回保健・医療・福祉創造フォーラム 開催報告

平成27年11月28日



平成27年11月28日(土)に第10回保健・医療・福祉創造フォーラムが本学にて開催され、保健・医療・福祉施設の職員、一般の方、学生などが参加しました。大会テーマを「切れ目ない包括的な支援」とし、金川克子氏(NPO法人いしかわ在宅支援ねごと理事長、石川県立看護大学名誉教授、金城大学

特任教授)による講演「住み慣れた地域で共に暮らす人々の健康を考える」教育、NPOの立ち上げ、家族としての体験から」が行われました。講演後にはシンポジウム「白山市における切れ目ない包括的支援をデザインする」が開かれ、専門家を招き、それぞれの立場における現状や展望などを提示し、専門性の高い情報意見交換の場となりました。

野々市市と包括連携協定を締結

平成27年12月21日

学校法人金城学園 金城大学 金城大学短期大学部と野々市市は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、包括連携協定を締結しました。

締結式は平成27年12月21日(月)に本学笠間キャンパスで行われました。

今後は、本協定を基に、幅広い分野で連携を図りながら協力し、魅力あるまちづくり及び地域づくりを実現していきます。



金沢医科大学と連携協力をに関する 包括協定を締結

平成28年2月18日



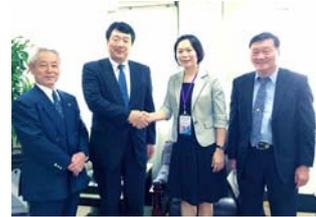
学校法人金沢医科大学 金沢医科大学 金沢医科大学病院と学校法人金城学園・金城大学は、平成28年2月18日(木)に連携協力に関する包括協定を締結し、同日、金沢医科大学にて協定式が行われました。

本協定は、これまでの医療・保健・福祉分野における伝統と歴史、実績等を踏まえて、これまで以上の連携体制を築き、更なる学生教育の質向上、教育研究活動の充実及び人材の育成を図ることを目的とするものです。

今後は、本協定を基に、更に魅力ある人材を養成していく予定です。

金城大学と台北市立大学との教育・研究交流 に関する協定締結と交流事業実施報告

平成28年3月6日～11日



金城大学と台湾の台北市立大学は、平成27年8月8日(土)付けで教育・研究交流に関する協定を締結しました。

きっかけは、本学坂口憲政特任教授が平成18年～24年に台湾代表女子バレーボールの監督を務めた縁で、平成26年2月に本学加藤真理事長が台北市立大学を訪問し、協定締結の運びとなりました。

とからです。平成27年3月には本学学生が海外研修の中で台北市立大学を訪問するなどの交流を開始し、その後、平成27年5月に再び本学加藤真理事長が台北市立大学を訪問し、協定締結の運びとなりました。

本協定では、「教育・研究活動、及び必要な情報や資料の交換」「教職員及び学生の交流」「その他、将来において合意されうる教育・研究交流の交流活動」について合意されました。

また、本協定締結記念事業として、平成28年3月6日(日)～11日(金)までの期間で、台北市立大学の載退齡学長、鄭芳梵副学長及び同大学女子バレーボール部の皆さんが来日し、白山市に滞在されました。両大学の学生及び教職員は、ウエルカムパーティーや合同練習等で親睦・交流を深めました。7日(月)には山田白山市長を表敬訪問、夜には、交流事業の環として、女子バレーボール国際親善試合が本学日光アリーナで行われ、地域住民の方々など約600人が来場観戦し、白熱した試合はセットカウント



2-1で金城大学が勝利しました。更に9日(水)には、後援会長主催の食事が本学松任キャンパスにて開催され、高松喜与志後援会長にご参加ご挨拶いただき、学生及び教職員約100人が参加した盛況な会となりました。



今後両大学が連携しながらグローバル教育の推進を図っていくことに本後援会も協力していきたいと考えています。

教育・研究活動報告

研究活動成果報告会開催報告

本学教員を対象に、学内競争的資金として交付される特別研究費・国外研究費に採択された研究活動について、平成27年10月24日(土)～25日(日)の期間で実施された活動成果報告会(ポスター発表)の発表者は次の通りです。



- 1 神谷晃史講師(医療健康学部)
「しゃがみ込み動作に対する運動療法効果の検討ーKaltenborn-Lewin Concept に元づく包括的プログラムの有効性ー」
- 2 小島聖講師(医療健康学部)
「拘縮予防を目的とした寒冷浴の効果ーラット膝関節の可動域と関節軟骨の病理組織学的検討ー」
- 3 越納美和助手(看護学部)
「地方自治体と大学の連携による健康教室の効果」
- 4 佐々木賢太郎准教授(医療健康学部)
「運動中の呼吸数を計測する簡易装置の開発」
- 5 田中克恵准教授(社会福祉学部)
「特別養護老人ホームにおける終末期ケアの主観的評価「より良い事例」と「心残り事例」の要素の比較」
- 6 野口雅弘講師(医療健康学部)
「若年者におけるベッド上仰臥位エルゴメータ運動と座位エルゴメータ運動の呼吸循環応答」
- 7 渡辺豊明講師(医療健康学部)
「骨盤の傾斜角度の違いによる座骨部の座圧変化」

科学研究費助成事業採択状況

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会による科学研究費助成事業は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、豊かな社会発展の基盤となる独創的先駆的な研究に対する競争的研究費(助成制度)です。平成27年度の採

択交付者は次の通りです。

〔金城大学〕

- 1 木林勉教授(医療健康学部)【研究代表者】
「大学生と高齢者が協同学修で開発する介護予防支援者養成教育プログラム」
- 2 永井将太准教授(医療健康学部)【研究代表者】
「理学・作業療法士の臨床実習における学生支援のためのeポートフォリオの開発と検証」
- 3 樋貝繁香教授(看護学部)【研究代表者】
「早産児の脳神経の発達促進を支える家族への睡眠教育プログラムの開発」
- 4 川邊弘之教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「視野障害学生のためのHMDシステムの研究ー視線移動を考慮した健常者視野の提供ー」
- 5 佐々木賢太郎准教授(医療健康学部)【研究代表者】
「転倒要因としての固有感覚の検証」
- 6 下村有子教授(社会福祉学部)【研究代表者】
「夜盲などの光感受性が低下した学生のための暗視カメラを用いた支援システムの開発」
- 7 小島聖講師(医療健康学部)【研究代表者】
「理学療法的治療が間接拘縮の進行予防と回復に及ぼす病理組織学的影響」
- 8 元村智明准教授(社会福祉学部)【研究分担者】
「研究代表者/関西学院大学・人間福祉学部室田保夫教授」
「大阪「博愛社」の研究ー125年の歴史的検証ー」
- 9 下田裕子講師(看護学部)【研究分担者】
「研究代表者/富山大学・大学院医学薬学研究部
新較眞理子准教授」
「要介護度の維持期間からみた介護サービスの有効性の評価」
- 10 越納美和助手(看護学部)【研究分担者】
「研究代表者/金城大学・医療健康学部 木林勉教授」
「大学生と高齢者が協同学修で開発する介護予防支援者養成教育プログラム」

〔金城大学短期大学部〕

- 1 瀬戸就一教授(ビジネス実務学科)【研究代表者】
「360度カメラを用いた聴覚障害学生生のアクティブラーニング参加支援システムの開発」

クラブ・同好会 活動報告

学生活動支援費から援助金を交付しているクラブ・同好会の活動報告については、以下の通りです。

女子卓球部

活動内容 私たちは全日本大学総合卓球選手権大会、全日本選手権大会、各種大会の上位入賞を目指し日々練習に取り組んでいます。集中力を高めた練習を心掛け、寮生活においても各自の役割を意識した生活をして目標達成に向け頑張りたいと思います。



（T：団体 W：ダブルス S：シングルス）
百万石オープン卓球大会（S：ベスト32）、全日本大学総合卓球大会（T：ベスト16）、春季北信越学生卓球選手権大会（T：優勝 W：優勝 S：優勝）、夏季北信越学生卓球選手権大会（T：2位 W：優勝 S：優勝）、秋季北信越学生卓球選手権大会（T：優勝 W：優勝 S：優勝）

女子バレーボール部

活動内容 私たちは「全員バレー」をモットーにチーム一丸となり、切磋琢磨しながら日々練習に励み、全国上位を目指して頑張りたいと思います。

活動内容 私たちは「全員バレー」をモットーにチーム一丸となり、切磋琢磨しながら日々練習に励み、全国上位を目指して頑張りたいと思います。

活動内容 北陸三県学生春季リーグ戦 優勝（2季連続20回目）、春季北信越大学選手権大会 優勝（3季連続15回目）、東日本大学選手権大会 ベスト32、北陸三県学生秋季リーグ戦 優勝（3季連続21回目）、秋季北信越大学選手権大会 準優勝、全国6人制総合男女北



信越リーグ 5位、天皇杯皇后杯全日本選手権大会北信越ブロックラウンド 準優勝、全日本大学選手権大会 ベスト32

男女バスケットボール部

活動内容 目標は男女とも上部昇格することです。練習は週3回で、内容はデフエンスリバウンド、走ることを意識した基礎練習、最後に試合形式の練習を行っています。経験を積むためにほかの大学や社会人との練習試合を行い、県内の大会にも積極的に参加し、技術向上に努めています。



活動内容 第49回笹本杯争奪北信越大学バスケットボール春季リーグ戦「男子」3部Bリーグ 4位、「女子」3部リーグ 4位、第49回北信越大学バスケットボール選手権大会兼インカレ予選「男子」「女子」予選敗退

ダンス部

活動内容 金城大学ダンス部です！私たちは毎週月曜日と金曜日に短大リズム室で練習しています。休日には主に地域のお祭りや福祉施設イベントなどに出演しています。冬には卒業生も含めて、衣装・振付・脚本・舞台美術など全て自分たちで作りに上げる公演を行っています。部員全員が家族のように仲良く、BQやピクニック、ボーリングに合宿など楽しい行事も盛りだくさんです！



活動内容 春合宿、新入生歓迎会、石川県大学ダンス連盟（UP）公演、秋合宿、合同学園祭、ショーケース、公演直前合宿、年間40回以上のイベントに出演しました。また、昨年は全国植樹祭にも出演させていただきました。

男子バレーボール部

活動内容 週5回の練習。目的は、心と体を鍛え、人として魅力ある生き方ができるような部活動を目指しています。目標は、北信越1部リーグ優勝であり、インカレでも注目チームとなることです。



活動内容 春季北陸三県大会1部3位、春季北信越大学選手権大会1部6位、中部日本6人制総合選手権大会石川県予選1回戦敗退、東日本バレーボール大学選手権大会予選リーグ敗退、天皇杯皇后杯石川県予選大会1回戦敗退、秋季北陸三県大会1部3位、秋季北信越大学選手権大会ベスト8、全日本バレーボール大学選手権大会予選通過2回戦敗退、石川県6人制男女バレーボール交流会2回戦敗退、石川県ウインターリーグ参加。

キンボール部

活動内容 毎週火曜・木曜に笠間体育館・日輪体育館で活動しています。

活動内容 キンボールとは、カナ夕発祥の老若男女楽しめるニュースポーツです。初めて名前を知った人も多



と思います。私たちもはじめは「何それ?」と思いますでしたが、実際にやってみると、かなりハマってしまいました。見て面白い、やってみると面白、勝って面白、楽しいスポーツなので、興味が湧いた方はぜひ体験してみてください。キンボール部は楽しみながらも大会上位をめざし、一生懸命活動しています。

硬式野球部

活動内容 北陸大学野球2部リーグを制覇するために、夏休みと春休みについては、毎週火曜、木曜、土曜、日曜、授業期間中は、毎週土曜に練習しています。春季リーグ戦、秋季リーグ戦、新人戦で二つでも多く勝利を収めるようチーム一丸となって活動しています。



活動報告 平成27年度北陸大学野球春季リーグ戦 4位、北陸大学野球新人戦1回戦敗退、平成27年度2部北陸大学野球秋季リーグ戦 5位

VORABO

活動内容 実際に被災地へ行き、災害ボランティアを主にしています。頻度は1年に1回で、このボランティアを通して机上では学べない被災地の状況や、現地の人たちの思いを直に感じ、私たちがいる石川県でもできることはないか考えていけるように取り組んでいます。



活動報告 岩手県に行き、農業支援(トマトの剪定や草刈り、サロンで高齢者との交流を行いました。その他、白山市内で赤い羽根共同募金、金城祭で台風18号による洪水被害を受けた地域への募金を行いました。

Jay's.v

活動内容 現在、美川・笠間地区を中心に児童を対象とした活動をしています。月に一度、イベントの企画・運営を通して小学生との交流を深めています。また、小学生のお泊り合宿に参加したり、笠間地区のイベントのお手伝いをしています。今後は、高齢者や障がい者を対象としたボランティア活動にも取り組んでいきます。



活動報告 児童を対象としたイベントを企画・運営することができました。また、金城祭などの学校行事にも積極的に参加しサークル内で楽しく活動することができました。

釣り同好会

活動内容 活動は、医療健康学部・看護学部・社会学部・福祉学部および短期大学の学生(部員数41名)が参加し、原則毎週火曜日昼休みにミーティング、釣り講習会等を行いつつ、休日等には県内外のフィールドで実釣。



祭では、天然アユの塩焼きをメインに出店しています。

活動報告 5月31日に松任海浜公園での清掃活動に参加。学外での活動は、県内の海にて、初心者を対象としたハゼ釣り、投げ釣りなどを実施しました。

ピンポンサークル

活動内容 私達、ピンポンサークルは現在8人で活動しています。週に2回日光アリーナのステージで行っています。昨年発足したばかりで、人数も少ないのでセメスターの初めに話しあい、活動曜日を決めています。その時みんなが集まれる日を吟味します。

サークルの雰囲気も良くみんなで仲良く楽しくやっています。ゆったりしたペースで活動しているので初心者大歓迎です。気軽にたのしく卓球をしたい方ぜひお待ちしております。

金城BBSサークル

活動内容 金城大学BBSサークルは去年の6月に出来た児童サークルで、主に地元の小学校や保育園での行事や、読み聞かせボランティアを主として活動をしました！読み聞かせボランティアは毎週火曜の朝に地元の小学校で10分程度、絵本の読み聞かせを行いました★また、非行少年、少女や更生保護に関する勉強会や啓発活動も外部の方を招いて時々行いました。9月には金沢刑務所で模擬店を開き、うどんを販売したり、金沢刑務所内の見学もしてきました！



平成28年
3月18日

平成27年度

卒業パーティー



▶平成28年度 大学行事案内

- 平成28年度 入学式：平成28年 4月 1日(金)
- 平成28年度 新入生歓迎会：平成28年 4月 9日(土)
- 平成28年度 新入生合宿研修：平成28年 4月15日(金)～17日(日)
- 平成28年度 後援会総会：平成28年 6月25日(土)
- 第41回 金城祭：平成28年10月22日(土)・23日(日)
- 平成28年度 地域別説明会：平成28年12月10日(土) (予定)

▶平成27年度 金城大学 学部・学科構成 一覧



金城大学大学院
リハビリテーション学研究所
リハビリテーション学専攻

金城大学 社会福祉学部

新コース

医療情報コース

2017年4月開設予定



福祉の学びをベースに、診療情報管理士、ドクターズクラークの資格を追加!
医療・福祉の職場で活躍する人材を、より幅広く育成します。

社会福祉学部
社会福祉学科

新コース

医療情報コース

◎医療情報コースの開設に伴い、医療・福祉ビジネスコースは募集を停止します。◎他のコース(社会福祉コース、介護福祉コース)は変更ありません。

主な取得可能資格
診療情報管理士【NEW】 ドクターズクラーク【NEW】
社会福祉士国家試験受験資格、メディカルクラーク
高等学校教諭1種(公民)、中学校教諭1種(社会)他

診療情報管理士

医師が書いた「カルテ」や検査記録をデータベース化し、管理・分析を行います。病棟からカルテや看護記録などを集め、検査の結果や手術記録、診療の経過などが完全に書かれているか、日付や薬の内容が正しいか、手術や治療内容はその患者さんに適切だったかなど、確認事項は実に広範囲。もし記載情報に漏れや間違いがあったら、院長や担当医師に報告して訂正を依頼します。専門用語や英語も多い中、情報を正確に読解し判断しなければならないため、医学の用語や知識、病状や治療に関する専門知識も必須です。そして、患者さんの病気を分類する「コーディング」を行います。統計データを作成したり、データを分析することによって、病院の経営に無理やムダがないかをチェックしたり、研究材料として国の研究所にデータを提供することもあります。診療情報管理士は、安全な医療を提供し病院が健全に経営できるよう、そして患者さんが安心して治療を受けられるよう専門的な立場でサポートする。医療の現場になくてはならない存在です。一般社団法人日本病院会が指定する大学等で指定単位を修得した者が受験することができる。診療情報管理士認定試験に合格することで資格が得られます。

ドクターズクラーク

病院勤務医の負担軽減策の一つとして、平成20年度の診療報酬改定において新設された「医師事務作業補助体制加算」に対応した業務で、カルテなどの診療録や各種診断書・証明書・処方せん等の医療文書作成業務などを医師の指示の下で代行する仕事です。医療文書の作成に関する知識はもちろん、医学・薬学、医療に関する法律・法令等の知識や技能など、これまでの医療事務職以上に高度な専門知識が求められ、今後多くの医療機関での活躍が期待されています。医師事務作業補助技能認定試験に合格することで「ドクターズクラーク」の称号が与えられます。

卒業後の主な就職先・職業

- 医療機関……………診療情報管理士、ドクターズクラーク、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士) メディカルクラーク、総合職、事務職など
- 福祉施設……………社会福祉士、生活相談員、生活支援員など
- 県庁・市役所など……………公務員
- 高等学校・中学校……………教員
- 一般企業・医療福祉関連企業……………総合職、営業職、事務職、サービス職など

大学案内・入学試験に関するお問い合わせ

入試広報部

フリーダイヤル
0120-276-150

TEL
076-276-5175 (直通)

FAX
076-275-4316

E-mail
nyushi@kinjo.ac.jp

KIND

金城大学後援会 会報誌【KIND】第22号 平成28年3月31日発行 編集兼発行：金城大学後援会 事務局
(学)金城学園理事長 加藤真一・金城大学学長 半谷静雄・後援会会長 高松喜与志(高松機械工業株式会社 代表取締役社長)
(笠間キャンパス) 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400 FAX 076-275-4316 (URL) http://www.kinjo.ac.jp/ku/kouenkai/
(松任キャンパス) 石川県白山市倉光1丁目250 TEL 076-276-6630 FAX 076-275-6651 (E-mail) u-koenkai@kinjo.ac.jp